

知ろう!

衣類の「取扱表示」の記号と意味

家庭での洗い方



家庭での洗い方(洗濯機洗い、手洗い)です。



「40」などの数字は洗濯温度の上限です。

※左の場合は「40℃以下」で洗います。



「—」は「線なし」よりも弱く、

「=」は更に弱い洗濯機での洗い方です。



「・」は、増えると作用が弱くなるので、マイナスパーと覚えると良いですね。



押し洗いなどの「手洗い」で洗います。



上限温度は「線なし」が40℃、「—」が30℃になります。



家庭での洗濯はできません。



漂白

漂白ができます。



塩素系漂白剤も酸素系漂白剤も使えます。



酸素系漂白剤のみが使えます。

※酸素系漂白剤は、ほとんどの色柄物に使える漂白剤です。



漂白剤は使えません。

△は縮柄にも使える漂白剤と覚えると良いですね。



例えば、このように表示されます。



※家庭洗濯→漂白→乾燥→アイロン→クリーニングの順で1行もしくは2行で記載されます。

乾燥



タンブル乾燥



家庭用のタンブル乾燥機が使えます。

記号内の「点(・)」は乾燥温度を表します。

「・・」はヒーターを「強」などに設定します。

「・」はヒーターを「弱」などに設定します。



タンブル乾燥はできません。

自然乾燥



「つり干し」をします。

※ハンガーにかけるか、小物干しなどに吊して干します。



「平干し」をします。

※平らな場所に広げて干します。

※四角の中の「1本線」は脱水して、「2本線」は脱水せず(絞らず)に干します。



「斜線」はひさしや屋根を表しているので陰干しをします。

つり干しは衣類をタテ! 平干しはヨコ!と、線の向きでイメージしてみてください。



クリーニング店での洗い方



ドライクリーニングができます。



パークロロエチレンなどの溶剤を使用します。



石油系溶剤などを使用します。



ウエットクリーニングができます。

※クリーニング店が特殊な技術で行うプロの水洗いと仕上げによる洗濯です。

※それぞれの記号には「—」や「=」が付いた記号があります。



ドライクリーニングはできません。



ウエットクリーニングはできません。

Wがあれば、△でも、クリーニング店で水洗いができます。ただし、家庭では洗えませんよ。



記号の構成

基本記号に、付加記号や数字を組み合わせて表します。

5つの基本の記号



家庭洗濯



漂白



乾燥



アイロン



クリーニング

付加記号と数字

強さ(基本記号の下に付加)



通常の強さ
弱い、低温
非常に弱い

「線(—)」が増えるほど弱くなります。

温度(基本記号の中に付加)

《記号によるもの》

「・」「・・」「・・・」

低 → 高

タンブル乾燥やアイロンの温度は「点(・)」で表します。数が増えるほど温度は高くなります。

《数字によるもの》

【例】



禁止



基本記号と組み合わせて、禁止を表します。